



ロータリーは機会の扉を開く

Weekly Bulletin

Rotary Opens Opportunities

ロータリーは機会の扉を開く

国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク

静岡ロータリークラブ

●例会日／毎週月曜日12:30～13:30 ●例会場／グランディエール ブケトーカイ TEL.273-5225
●会長／小林 武治 ●副会長／谷本 宏太郎 ●幹事／杉本 忠重 ●副幹事／木村 絵美

2020-2021 2月15日  第3573回例会

会員卓話『昨今の建設技術紹介』



●国歌斉唱・ロータリーソング●



ソングリーダー
瀧上 恵美子君

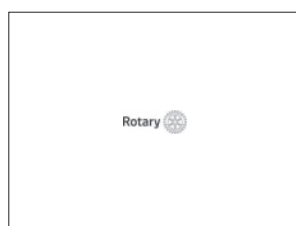
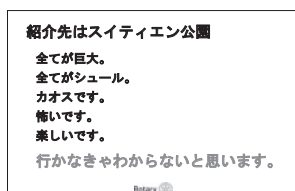
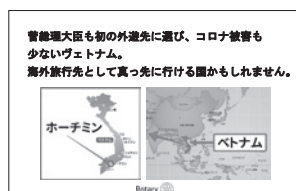
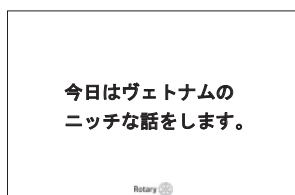
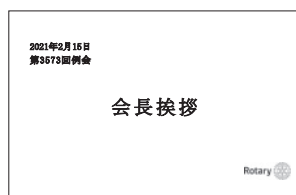
●会長挨拶●

会長 小林 武治君

皆さんこんにちは。世の中、新型コロナウイルスを筆頭にいろいろなことが起きています。

3万円に迫る株高、森会長の辞任劇、違法接待問題、そして先週末には東日本で大きな余震もありました。被災地の皆様には心よりお見舞い申し上げます。世の中はコロナであろうが、良い話題ばかりではないにせよ、歩みを止めてはなりません。しかしながらロータリー活動の停滞を心配されてか、第3地域の公共イメージコーディネーターからNEWSが配信されました。概要を申し上げますと「活

発に活動しているクラブが多々あります。意識の変化が起こったこの時こそ想像力を発揮し新しい形の奉仕活動を工夫して行いましょう。そしてその活動を対外的に発信し、ロータリークラブを知ってもらいましょう」というものでした。残り4か月の中で何かしらの活動をしたいと思っております。さて今日は過去で唯一評判の良かった（松本さんお一人ですが）旅について話させていただきます。



●おめでとぅ●

【誕生日祝い】

- 月●●日 向坂 達也さん
- 月●●日 佐々木 敏春さん
- 月●●日 磯部 潔さん

【結婚記念日】

- 月●●日 大石 明彦さん・朱実さん
- 月●●日 岩崎 茂夫さん・さゆみさん

●ス マ イ ル●

久保田 隆君

昨日よりNHK大河ドラマ「青天を衝け」で渋沢栄一の物語が好調なスタートを切ったようです。徳川慶喜公とのエピソードもたっぷり出てくると思います。府月労の場所は渋沢の最初の会社「静岡商議所」が作られたところです。

田和 英夫君

本日、卓話の機会をいただきありがとうございます。拙い説明ですが何卒宜しくお願い致します。

二村 昭彦君

2020年トヨタL&F全国販売店表彰で、我がトヨタL&F静岡が4年連続の優秀店賞を受賞し、それに伴い栄えある特別表彰も受けてました。これもひとえにお客様皆様のご支援あってのことと感謝申し上げます。引き続き、フォークリフト、物流システム賞品に関することはトヨタL&F静岡にご用命賜りますよう、よろしくお願い致します。

望月 義弘君

結婚記念日の美しい花をいただきました。

加藤 正博君

遅ればせではございますが、結婚祝いのお花をありがとうございました。満●●年になりました。

岩崎 茂夫君

結婚記念日に綺麗なお花をいただきありがとうございます。●●回目か●●回です。ちなみにありがたい言葉は仏教から由来した言葉です。

大石 明彦君

きれいなお花をありがとうございました。●●日にお花が届き、14日には孫からバレンタインチョコと、週末は、ニコニコの妻でした。

7番テーブル 志田ガバナー

満席スマイルです。

10番 久保田さんテーブル

満席

稲葉さんテーブル

満席スマイル

佐々木さんテーブル

15番テーブル満席です

●出席報告●

例会日	全会員数 (出席計算人数※1)	出席 会員数	欠席 会員数	暫定 出席率
2/15	108(106)	65名	43名	61.32%

※1 出席免除会員を引いた会員数。

出席免除会員は欠席しても出席扱いになるため。

欠席した方は年度内にメイクアップしましょう！
なお、国際ロータリー理事会の決定事項に則り、それに変更が無い間は全会員出席扱いとします。

●会員卓話●

清水建設株式会社名古屋支店 静岡営業所所長

田和 英夫さん

『昨今の建設技術紹介』



●●●●年●●月●●日、三重県津市生まれ。妻と息子●人、自宅は山梨県甲斐市。●

●●●●年●月に清水建設株式会社に入社以来●●年間を関東圏で、30以上の建築現場の施工管理に携わる。清水建設は、1868年日本初の本格的洋風ホテル「築地ホテル館」を設計施工。1887年に渋沢栄一が相談役に就任し、1916年まで約

30年近く経営指導にあたった。東洋モリスン（現 東洋紡）静岡工場や静岡三十五銀行本店（現 静岡銀行）竣工など戦前からの実績、そして、現社長の井上和幸は2007年～2009年まで静岡営業所長を務めるなど、静岡との関わりも深い。昨今の建設技術ですが、各社様の事例も含め、新聞記事から抜粋して紹介していく。

①防災、減災

大成建設では、津波の浸水解析の結果を3次元映像に自動変換して、浸水状況などをわかりやすく可視化する技術「T-Tsunami Viewer」を開発。また、AI（人工知能）を活用した地震観測データの自動処理システムを開発。

②省エネ、生態系保存

長谷工では、建設作業所から発生する木くずを燃料にしたバイオマス発電の電力を建設作業所で使用する取組の検証を始める。また、環境配慮型コンクリート「CELBIC（セルビック）」の普及拡大にも取り組む。

三井不動産は、東京・日本橋に国内最大・最高層となる木造オフィスビルを建設する。

③健康快適

大林組は、新型コロナウイルスの患者の症状に合わせた部屋配置が可能な「新型コロナウイルス感染症対応病棟」を開発。新日本空調では、新型コロナウイルス飛沫感染防止対策を目的に、ダクト接続型「可搬式抗菌フィルターユニット」と「自立型感染防止フード」を開発、「感染症患者診察時の飛沫感染防止システム」への展開を実現。

④施設価値向上

北海道室蘭市を舞台に取り組む「建物及び街

区における水素利用普及を目指した低圧水素配送システム実証事業」や北海道鹿追町と連携した、地域スマートソサエティ構想に着手。公民連携で地域の活性化や住民サービスの向上を目指している。

⑤生産性向上

鴻池組がMR（複合現実）関連技術の開発に取り組み、フジタでは、四足歩行型ロボット「Spot」（スポット）について、2021年春にも現場に導入し、省力化の効果などを確認したいという。

⑥維持保全

大林組は、BIM（ビルディング・インフォメーション・モデリング）モデルを施工用図面で可視化する「次世代型生産設計図」を実用化した。

今後の課題として、建設業が抱える問題は、

①就労者人口減少による生産性の向上

②新規就労者の拡大

③建設業のイメージアップと魅力の発信があげられる。

社会基盤を支えるためにも、万が一の時に強靱な構築物を作る、それこそが建設業の使命。土建業に誇りを持って、課題克服をして行きたい。

